

メータセット PS5TK 取扱説明書

No. M0091

この度は、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用前に、この取扱説明書を熟読し、正しくご使用下さいますようお願い申し上げます。なおこの取扱説明書は、大切に保管して下さい。

仕様 使用流体：水道水（常温）、使用圧力：0.75MPa 以下

設置上の注意事項

- ① メータセットの設置の際、保守点検操作のために必要な作業空間を確保して下さい。
- ② パイプシャフト内は、メータの取り付け、点検や交換時などの戻り水を考慮し、防水処理または、排水処理などの処置を講じて下さい。

配管上の注意事項

- ① 接続する配管は、洗浄・排水し、内部の異物を取り除いて、清浄な状態として下さい。
- ② 配管接続前にメータセットを水平に設置するため、コンクリート地面に墨入れした後、メータセットを取付ける位置へ、アンカーボルト又は全ねじボルトを埋めておいて下さい。推奨ねじの呼びは、W3/8 又は M10 です。（図1参照）
- ③ ボルトにメータセットを仮固定し、配管を接続します。
配管接続後、メータセットを水平にして、アンカーボルト又は全ねじボルトに六角ナット及び座金を使用し、動かないように固定して下さい。（図1参照）
- ④ 配管は、メータセットへ無理な力が加わらない状態で接続して下さい。（フレキシブル継手等のご使用をお勧めします。）
- ⑤ 部品の点検、メンテナンス以外には、製品の分解はしないで下さい。
- ⑥ ボール伸縮止水栓で配管接続の際に、ボール伸縮止水栓の伸縮固定リングを外した場合は、配管接続後に、伸縮固定リングを必ず取り付けて下さい。

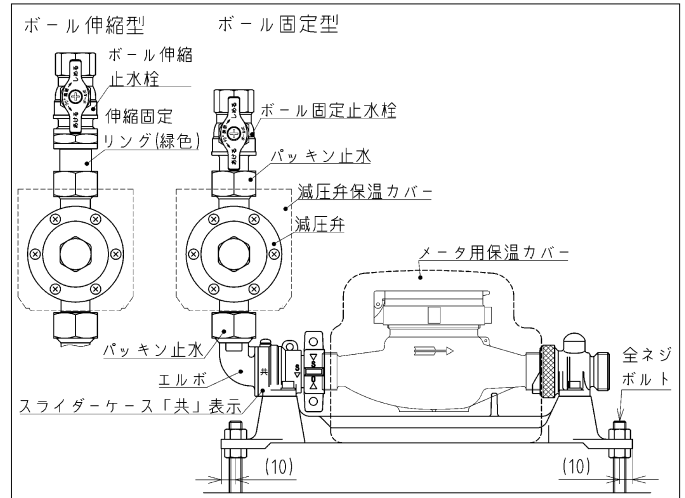


図1

配管接続

メータセット GL 型の1次側はボール止水栓、減圧弁及びエルボで構成されています。（図1参照） 各々は、袋ナット接続、バックシン止水方式になっています。

- ① 配管接続時には、給水管の1次側から配管を接続して下さい。
- ② 配管の流水方向を確認し、ボール止水栓、減圧弁の接続を行って下さい。
- ③ エルボ固定用ビスを緩めると任意の角度にエルボを動かす事が出来ます。
エルボ固定用ビスは、エルボの位置を決めた後、必ずドライバーで締付け、エルボの固定を行って下さい。

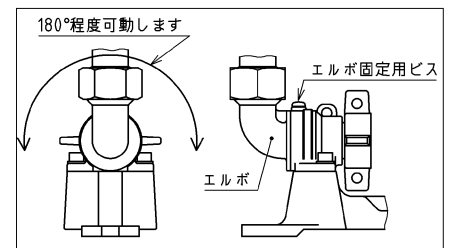


図2



必ずエルボ固定用ビスを緩めた状態で、エルボを可動させて下さい。

エルボ固定用ビスを紛失してしまうと配管の固定が出来なくなりますので、ご注意ください。

- ④ 接続部の袋ナットは、必ずしっかりと締めて下さい。袋ナットが緩んでいると漏水の原因となりますので、ご注意ください。
- ⑤ ボール伸縮止水栓の伸縮管袋ナット（止水栓側）を緩めた場合には、必ずしっかりと締めて下さい。袋ナットが緩んでいると漏水の原因となりますので、ご注意ください。
- ⑥ 1次側配管が鋼管の場合には、ボール止水栓・テーパめねじに管端コアを取り付けてご使用下さい。

取り付け後の注意事項

- ① メータ代用管、又はテスターチーズを取り付け後、配管内を十分にフラッシングし、内部の異物を排出して下さい。
- ② メータを設置するまでに、メータ取り付け部に異物が入らないようにして下さい。
- ③ メータ設置後、メータ用保温カバー等を使用し、適切な保温・防寒施工をして下さい。（メータ用保温カバーは別売となります。）
- ④ ボール止水栓の使用圧力は、0.75MPa 以下です。

！ 閉の状態、0.75MPa を超える圧力を加えると、シート部の破損、止水不良の原因となります。

水道メータの取り付け

- ① メータ受けとスライダークハンドルのメータ圧着面の両側にパッキンがしっかりとハマっている事を確認して下さい。（写真1参照）
- ② メータの流水方向とメータセットの流水方向を合わせ、取り付けして下さい。
- ③ ハンドルをS（閉）方向へ手で回し、メータ圧着面を前進させ、メータを確実に圧着させて下さい。（締付けトルク目安：4N・m）
- ④ メータ取付け後、メータ圧着部からの漏水等の異常が無い事を確認して下さい。
- ⑤ 異常の無い事を確認後、ハンドルは緩み防止の為、締める方向（S方向）にスライダークハンドルとスライダークケースを結束バンド（インシュロック）で結んで下さい。（図3参照）

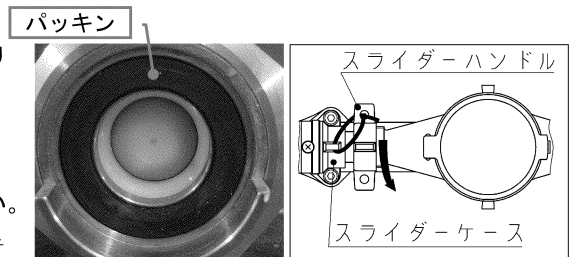


写真1

図3

**！ メータ圧着部から漏水等の異常が見られた場合は、メータを取り外し、再度①からの手順でご確認下さい。
メータ（及びメータ代用管）の取り付け時、スライダークハンドルの操作に工具を使用しないで下さい。破損等の原因となります。**

水道メータの取り外し

- ① 結束バンドをハサミ等で切断して下さい。
- ② スライダークハンドルをO（開）方向へ回し、メータ圧着面を後退させ、メータを取り外して下さい。（図4参照）

！ メータの取り付け、取り外しは、ボール止水栓を閉じてから行って下さい。

呼び径	パッキン寸法 (外径×内径×厚さ)	推奨品
13	φ23~24 × φ14~14.5 × 3	弊社メータパッキン
20	φ30~30.5 × φ21 × 3	

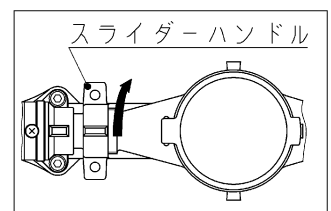


図4

ボール止水栓の操作

- ① ボール止水栓のハンドルを反時計回りに 90° 回すと開栓します。ハンドルの向きは、流水方向と軸上になります。(図 6 参照)
 - ② ハンドルを時計回りに 90° 回すと閉栓します。ハンドルの向きは、流水方向と垂直になります。(図 5 参照)
- ボール止水栓は、中間開度で使用すると、弁体の摩耗、振動、騒音の発生を招く恐れがあり、**止水不良の原因となりますので、全開・全閉でご使用ください。また、開閉操作はゆっくりと行って下さい。**

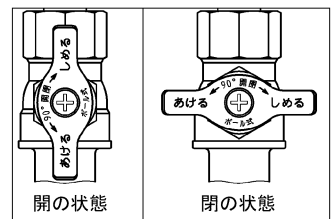


図 5

メータ接続器具の点検

- メータの接続方式は、スライダハンドルを回転・可動させ、メータを圧着して接続する方式です。(図 6 参照)
- ・スライダハンドルは、表示 S 方向へ回し、スライダケースから取り外せます。スライダハンドルを外し、0 リングの点検・交換が可能となります。(図 6 参照)
 - ・メータ交換時はスライダハンドルの 0 リングを交換して下さい。0 リング交換の際は、交換手順書をご確認下さい。
 - ・0 リングを交換し、異常がない事を確認後、スライダハンドルを表示の O 方向に回し、再度取り付けます。
 - ・スライダケースに「共」表示がある製品 (図 7 参照) は、下記のサイズの 0 リングを使用しています。

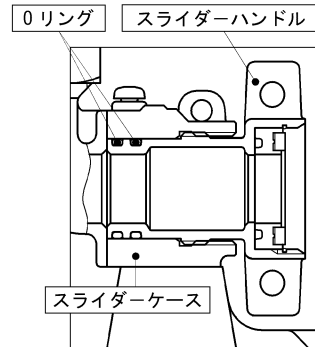


図 6

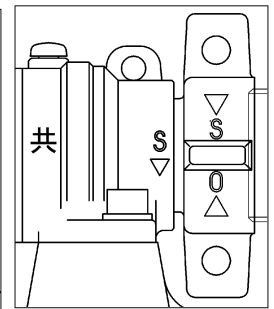


図 7 「共」表示例

	呼び径 13	呼び径 20
0 リングサイズ	内径 15.8 × 太さ 2.4 (P16)	内径 23.3 × 太さ 2.4 (JAS02023)

逆止弁のメンテナンス

ボール止水栓を閉じ、メータを取り外すと逆止弁のメンテナンスが可能となります。図 8 に逆止弁部の部品名称を示します。

- ① 逆止弁押さえを流水方向に向かって左に回して取り外します。
- ② メータ受け及び逆止弁を取り外します。
- ③ メータ受けから、逆止弁を引き抜きます。(図 9 参照)
(逆止機能の低下が懸念される場合には、逆止弁の交換をお勧めします。)
- ④ メータ受けに 0 リングが付いている事を確認し、逆止弁をはめ、逆止胴に取り付けます。この時、メータ受けの回り止めと逆止胴の回り止めの位置を合わせて下さい。(図 10 参照)

メータ受けと逆止胴の回り止め位置が合わないとき、正規の位置に取り付けられず漏水の原因となります。

- ⑤ 逆止弁押さえを逆止胴へ流水方向に向かって右に回し、取り付けして下さい。

部品を付け忘れると漏水しますので十分注意して下さい。

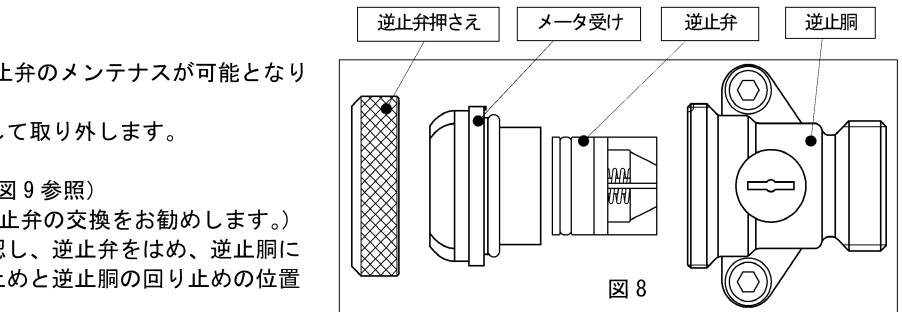


図 8

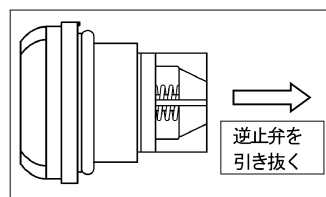


図 9

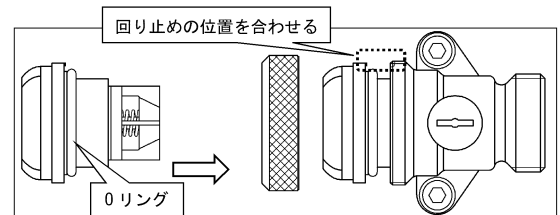


図 10

減圧弁使用時の注意事項

- ① 出荷時は、テストジグを取り付けたバイパス状態で出荷されます。配管洗浄・耐圧検査は、テストジグを装着し、行って下さい。
- ② 洗浄・施工検査終了後には必ずテストジグを外してご使用下さい。

テストジグの装着状態では減圧弁が作動しませんので、ご注意下さい。詳細は、同梱されている減圧弁の取扱説明書でご確認下さい。

逆止胴へ圧力計取付け時の注意事項

逆止胴の圧力計取付けねじは平行ねじ (G1/4) です。圧力計を取り付ける際は、平行ねじの圧力計にシールテープを巻いてご使用下さい。

プラグは、樹脂製プラグを使用した製品 (図 11 参照) と金属製プラグを使用した製品があります。

テーパねじの圧力計を取り付ける場合は、ねじ込み過ぎにご注意下さい。テーパねじの圧力計をねじ込み過ぎると逆止胴のめねじが変形し、再度プラグを取り付け後、漏水する場合がありますのでご注意下さい。

逆止胴めねじの変形等により、本製品の樹脂プラグで止水出来なくなった場合には、市販の銅合金製又はステンレス製プラグ (R1/4) をご使用下さい。

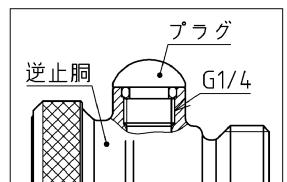


図 11

ライニング鋼管の配管施工法

ボール止水栓のテーパめねじ・管端防食コア無に、ライニング鋼管を接続する際は、別売りの管端防食コアを必ず使用して下さい。(図 12 参照)

- ① 管端面は、必ず管軸と直角とし、バリ、カエリのない平滑な面に仕上げして下さい。
- ② スクレーパーなどで管内面の面取りを必ず行ってください。
- ③ 管のおねじ部、及び管端部に素地が隠れるまで防食シーラントを塗布してください。
- ④ ボール止水栓のめねじに、鋼管がねじ込める程度まで、管端防食コアを手でねじ込んでください。
- ⑤ 管端防食コアをねじ込んだボール止水栓と、防食シーラントを塗布したライニング鋼管を接続してください。

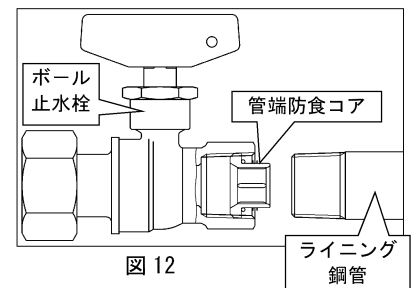


図 12

前澤給装工業株式会社

本社 〒152-8510 東京都目黒区鷹番2丁目14番4号 Tel. (03)3716-1511(代表)
https://www.qso.co.jp ISO 9001、ISO 14001 認証取得

※当取扱説明書は、製品改良のため変更することがあります。

No. M0091 4版 2022.12改訂